

平成21年度第4回宮崎県社会教育委員会議 議事録要旨

- 1 開催日時：平成22年2月9日（火）
14時00分から16時00分まで

2 会場：県庁会議室（621号室）

3 出席者：委員15名（2名欠席）

4 報告

議長 調査研究報告「旭化成株式会社延岡支社の取組について」



- ・ 1月18日（月）に9名が参加し、延岡市の旭化成株式会社延岡支社に伺って学校と連携した企業の取組について調査を実施した。
- ・ 支社長からの「地域との共生をめざして」と題しての講話や意見交換を実施した。社員（技術者）が学校へ出向き出前授業を実施していること、食育活動支援を行っていること、地域の発展があつてこそ、企業の持続的な発展がある等のお話をしていただき、貴重な調査の機会となった。

5 協議 「学校・家庭・地域が一体となった子どもたちの健やかな成長を促進する教育環境づくり」について

① 企業等との連携・協働を推進する具体的方策について

（以下、○は委員の発言）

- 現在、NPO法人として「放課後子ども教室」に取り組んでいる。以前は、子育ては、学校と家庭だけといった考えがあつたが、それではこれからの子どもたちは育てられないと考えている。地域が積極的に関わらないといけないと強く考えている。今後は、行政もNPOとの連携がとても大切になってくると思う。
- 子どもたちのために何が出来るのかを考え行動するべきだと思う。行政だけではなく、周りの地域住民に思いを伝えていけば必ず子どもたちのためにできることがあると思う。
- 企業に、年に1回ボランティアとして参加してもらうなど、少しずつ巻き込んでいけばできるのではないか。自分たちで何が出来るかを考えないといけない。
- パンフレットにもある子育て支援を謳う企業と連携していけばいいのではないか。実際は、それをコーディネートする人・機関があれば、いくらでも広まると思う。また、コーディネーターの人材育成が大切だと思う。
- 地域にも多くの企業があるので、身近なところから実態を調べていきたい。
- 企業は地域に貢献したいという希望を強く持っている。学校はしっかりとした組織であり非常に連携がやりやすい。社会教育の立場では、学校の外でどう子どもたちを育てるかが大切である。地域の中には、企業を呼び込んで体験活動等の実践をしているようなしっかりとした組織がないのが現状である。私たちが考えなければならないことは、地域における教育環境づくりではないか。
- 実際に、受け入れる環境があれば、企業が地域の取組に参加していただいている。既存の公民館やPTA等を中心に考えれば、地域性を生かした様々な取組ができるのではないか。
- そのためには、企業側と地域の団体といったそれぞれの取組等のデータを把握し、情報交換するとともに、それぞれが情報発信しないといけないと思う。
- いかに絆の強いコミュニティーをつくるかが大切であると言える。そのことにより企

業との連携ができてくるのではないかと。綾町では、地区の自治公民館の文化祭でも企業が参加してくれている。

- 宮崎市ではコミュニティ税を活用した様々な取り組みがあると思うが、積極的に活動できているところの事例が参考になるのではないかと。
 - 企業が様々な企画をしても子どもが集まらない現状があるのではないかと。例えば、第3日曜日は部活動はしない日と決め、本当に三者が一体的に取り組まないといけないのではないかと。やはり異年齢での地域での体験活動等の取組は重要である。
 - 本県は他県と違って、自治会組織がしっかりしていると思う。私の地域の自治会の取組は、テーマによっては、子どもたちはよく参加していると思う。また、教師がしっかり地域の取組の情報を伝えれば子どもたちも集まるのではないかと。
 - 地域指導者を「きりり人」と言うが、それらの指導者をうまく学校へコーディネートすることが大切であると思う。学校に如何に役立つかを整理して紹介すればいいと思う。
 - 学校に提言するのではなく、企業が学校教育にも参加するには、どのような環境をつくるかが必要である。地域と学校と家庭が一体となって、健全な子どもの育成をするにはどのような環境を作っていけばいいかを議論すればいいのではないかと。
 - 宮崎県は多くのプロや一流選手がキャンプをしている。これを企業とみたときに、一流の選手との連携はとても大切である。県としてもスポーツを通して子どもたちに夢を与えることも企業との大切な連携ではないかと思う。
 - 本日、企業は地域貢献したい思いはあるが、地域でのしっかりとした組織が必要とか、コーディネーターの育成等の重要性についての意見が出てきた。今日出てきた意見を論点としてまとめていけばいいのではないかと。
 - 地区公民館、自治公民館等のニーズ等、その組織自体を理解できれば、企業は連携できるのではないかと。既存の組織と新しいNPO等の組織の違いも把握する必要があると思う。
 - 自治公民館が子育て支援に関わるような取り組みが始まれば、大きな動きが出てくる可能性もある。綾町等の素晴らしい実践例がある。
 - 県内の生涯学習の実態はわからないが、その中に企業が入ってもらえるといいのではないかと。生涯学習と企業とのつながりを検討する必要もあるのではないかと。
- 議長 本日は時間一杯議論をしていただいたが、今後も団体等との連携を議論する中で引き続き深めていきたいと考える。
- いつも「家庭の日」の問題が取り上げられるが、実態として「家庭の日」がないというのが現状である。今こそ、全ての行事を休んで「家庭の日」をしっかりとしたものにしなないといけないと思う。みんなが真剣に協議をして進めないと、地域力の発揮といっても難しいのではないかと。

②次年度の計画について

議長 次年度提言をまとめる必要がある。そのスタイル等について御意見をいただきたい。
事務局・ 以前から議長とまとめについて話をしている。皆さんの意見をもう少し収集し今後進めていきたいと考える。

